

20年後の市長さんへ

2000年11月の「第10回しおざわ産業まつり」、世紀が変わる記念事業としてタイムカプセルに封印していた約850通の手紙が、今年取り出されました。20年後の自分や家族・友人など思いのある人へ宛てたものです。

1月末の開封式に参列し、山積みの手紙の中に知り合いの名前をたくさん見つけました。今や遅い若者になっていく彼らがまだ幼い文字で自分宛てに書いたもの、すでに他界された祖父母が孫に宛てたもの、当時結婚前だった女性がのちの旦那さんに書いたものなども。「ああ、いろんなドラマが生まれるだろうな」と、それらが届くみなさんをうらやましくも思いましたが、まさか自分にも届くとは！

宛名は「塩沢町役場内、20年後の町長さんへ」。差出人は市内にお住まいの視覚に障がいのある方でした。お手紙には、「21世紀がスタートいたします。子どものころから差別や偏見を直に体験してきただけに、障がいのある人たちが幸せになるた

めの活動に参加してきました」とあり、「公共施設のすべてにスロープや点字ブロックが整備されて不自由がなく、重度障がい者が安心して働ける職場、農村の古いきたりからの解放、外国人のお嫁さんが困ることの無いよう…」などの思いがつけられ、「この町が、憧れの豊かな住みよい町と言われるように、お互いに努力いたしましょう」と結ばれていました。

感激した私は、すぐに返事を差し上げました。「20年前の〇〇さん、お手紙ありがとうございます。令和3年はあなたの想像された未来になっていたでしょうか。：『憧れの街 豊かな街』と言われるよう今後も努力します」と。

明日は必ず良くなる、誰もがそう信じてがんばっていると思います。市の課題は尽きません。タイムカプセルはありませんが、いつかこの職を辞す前に、未来の市長宛てに手紙をしたためておこう、と思った次第。「20年後開封可」と書いて、市長室の机の中に。「心配ご無用」の返事を期待しつつ。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

シリーズ
第96回

エスワティニ王国 ザネレ ピリさん



私の国はこんなところ

エスワティニはアフリカ南部で最も小さな国で、129もの山がある山岳国です。文化遺産と自然環境が有名で、17の国立公園や自然保護区のサファリツアーでは、ビッグファイブと呼ばれるバッファロー・ゾウ・ライオン・ヒョウ・サイをはじめ、さまざまな野生動物に会うことができます。また世界最古の鉱山といわれる「ングウェニア鉱山」があるほか、1枚岩としては世界で2番目に大きいといわれる「シベベロック」に登ることができます。エスワティニの主食はメイズというトウモロコシの粉を熱湯で練ったもので、料理と一緒に食べます。メイズは料理のとりみ付けにも使用します。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼では景色を楽しんでいます。私は自然と農業が大好きで、南魚沼をまるで第二の故郷のように感じています。これまで3つの農場を訪ね、農家さんと交流する機会がありました。みなさんととても友好的で気前が良く、卵をいただいたり、新鮮なスイカを格安で譲っていただいたりしました。昔ながらの稲刈りも体験しました。小学校を訪問し、母国の文化を生徒たちに紹介する機会もありました。思い出になるたくさんの体験をしています。



エスワティニ王国

[公用語]	スワジ語、英語
[首都]	ムババーネ
[面積]	17,363km ² (153位)
[人口]	1,070,000人 (152位)
[GDP(PPP)]	57億ドル (145位)
[通貨]	リラングニ (SZL)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です